

気象講演会

～進化する気象情報を防災に活かす～



入場無料

平成16年新潟福島豪雨被害(柳津町)

平成22年

3

6

土

13:30~16:30 開場 13:00

福島市中央学習
センター(2階大ホール)

福島市松木町1番7号

演題・講師

地球温暖化と強雨化

福島大学教授 渡邊 明

市町村単位の警報発表と
それを支える技術的基盤

福島地方気象台技術課長 菅原光夫

主催:日本気象予報士会東北支部/福島地方気象台

後援:福島県/福島市

お問合せ:福島地方気象台防災業務課 Tel:024-534-0321 FAX:024-534-0383

開催趣旨

昨年における東北地方の気象災害を振り返りますと、2年ぶりに上陸した台風第18号と秋雨前線により各地で大雨や強風による被害が発生いたしました。また、秋田県能代市では竜巻による被害が発生したほか、青森・山形・福島でも突風による被害が発生するなど局地的な顕著現象が多発しております。

また、世界では地球温暖化に伴う海水面の上昇のほか、強い台風による大規模な気象災害の増加や干ばつ・大雨による農作物の生産減など、多岐にわたる危惧が議論されているところです。

こうした中、気象災害を最小限に抑えるためには、防災機関や報道機関、県民の皆様へ気象台が発表する各種防災気象情報の意図することの理解や県民の皆様一人ひとりが自ら危険回避できるよう防災意識の高揚と防災知識の普及を図ることが重要であると考えます。

また、今年の出水期からは市町村を対象とした警報等の実施が予定されており、その内容についても広く一般に周知・広報を行う必要があります。

このような情勢を踏まえ、風水害等に対する減災を観点に日本気象予報士会東北支部と連携し県民を対象とした気象講演会を開催することといたしました。

…講師プロフィール…

福島大学教授



渡邊 明 (わたなべ あきら)
1948年 栃木県大田原市生まれ
1967年 気象庁入庁
1978年 東京都立大学大学院理学研究科修了
1978年 福島大学教育学部出向 同大学助手
1979年 福島大学講師
1983年 福島大学助教授
1996年 福島大学教授 (現在に至る)

福島地方気象台技術課長



菅原光夫 (すがわら みつお)
1952年 岩手県平泉町生まれ
1972年 気象庁入庁
1980年 富士山測候所勤務
2001年 仙台管区気象台防災気象官
2003年 仙台管区気象台予報官
2005年 盛岡地方気象台技術課長
2007年 福島地方気象台技術課長